

国内路線バス用アリソン製フルオートマチックトランスミッションの 累計搭載台数、20,000 台を達成

～日本の都市バス事業者が直面する、運転手不足と都心部の渋滞という課題への対応～

2026 年 8 月：東京

アリソンジャパン株式会社は、主に国内の路線バス向けに提供するトルコン付きフルオートマチックトランスミッション、アリソン T モデル／2000 シリーズの累計搭載台数が 20,000 台を達成したと発表しました。20,000 台目となるアリソン T モデルは、いすゞ自動車製大型路線バス「エルガ」に搭載され、2026 年 8 月 6 日（木）に京成バス千葉ウエスト株式会社松戸東営業所にて、納車記念式典を行いました。

日本各地で毎日、バスは数百万人の人々を職場やその他の目的地へ運んでいます。しかし、日本の都市部の道路は世界でも有数の渋滞に見舞われているだけでなく、頻回なバス停間での「止まっては発進する」を繰り返しています。これはバス運転手にとって大きな負担となっており、頻繁なマニュアルシフト操作にストレスを感じています。また、AMT 搭載の車両におけるシフトチェンジは、運転手の感覚とずれが発生することがあり、運転手が違和感を感じることも少なくなく、乗客も不快な揺れに悩まされることがありました。



こうした欠点があるにもかかわらず、経済性が高いと見なされていたことや、2010 年以前には路線バスではマニュアル車がほとんどだったため、その運転に慣れているドライバーが大多数だったことから、必然的にマニュアルトランスミッションが好まれてきた歴史があります。しかし、近年の日本における人手不足を背景に、バス事業者にとって新規運転手の採用はますます困難になっており、その多くは、身体的な負担の高さ理由に、この職業を敬遠していることに起因しています。

いすゞ自動車株式会社は 2015 年に、都市バスラインナップにおいて、マニュアルトランスミッションの使用を完全に廃止しました。現在、同社のモデルには AMT の他、フルオートマチックトランスミッションが採用されており、いすゞが選んだのはアリソンの「Torqmatic®」シリーズ（アリソン T シリーズ）です。

小型エンジンからでも力強い加速を実現するトルクコンバーターを搭載したアリソンのトランスミッションは、現在、日本の大型路線バスの 70% 以上で採用されています。「Continuous Power Technology™」により、エンジンパワーがタイヤにシームレスに伝達され、運転の負担を大幅に軽減するとともに、乗客にはより快適な乗り心地を提供しています。



日本の大手バスメーカーである J-Bus (いすゞ自動車と日野自動車による合併会社) は、大型路線バスに AMT またはアリソンのトランスミッション、中型路線バスにはアリソンのトランスミッションを標準装備としています。中型と大型で同じアリソンのトランスミッションが搭載されているため操作性がほとんど変わらず、異なるサイズの車両間でドライバーをシームレスに交代させることができます。

京成バス千葉ウエスト株式会社松戸東営業所にて開催された、累計搭載台数 20,000 台目となるアリソン T モデルが搭載された、いすゞ「エルガ」の納車記念式典には、いすゞ自動車首都圏株式会社、京成電鉄バスホールディングス株式会社、京成バス千葉ウエスト株式会社の各社代表の他、アリソンジャパン株式会社エグゼクティブディレクター、アタック・タラスをはじめ、約 10 名の関係者が出席しました。

京成バス千葉ウエスト株式会社取締役の小松孝之氏は「弊社のドライバーはスムーズなシフトチェンジを実現するアリソン AT 搭載車の操作性を非常に高く評価しています。滑らかな走行は、ドライバーにとって運転しやすいだけでなく、乗客へのストレスも軽減されていると感じます。発進、停止が頻回な市街地では、マニュアル車の



操作を煩わしく感じることもあります。アリソン AT 搭載車であれば、乗用車と変わらない感覚で運転でき、また、新人、熟練ドライバー関係なく、すべての技術レベルのドライバーにとってストレスなく運転ができ、燃費の均一化を図ることやクラッチの焼き付けを予防することも AT 車導入の利点だと考えています」と述べました。

また、「長年アリソン AT 搭載車を保有していますが、定期的なメンテナンスはアリソンの正規サービスディーラーにお任せしています。正規サービスディーラーとは日頃から緊密に連携をとっており、シフトマップの調整や保守点検では、アリソン認定メカニックが迅速に対応している点に安心感を覚えています。人々の日々の生活を支える路線バスは、不測のダウンタイムは最も避けたいところであり、シフトセレクターに表示される予後診断機能によってオイルやフィルターの交換時期、オーバーホール時期がわかるだけでなく、故障発生時にコードが表示されるため、ダウンタイムを短縮できると安心しています」と加えました。

アリソンのサービスはトランスミッションの納入だけで終わりません

日本において、アフターサービスは他の多くの国に比べて顧客体験においてより重要な要素となっています。バス事業者をはじめ、すべてのお客様に優れたアフターサービスを提供するため、アリソンジャパンは、全国に 35 社もの正規認定ディーラーからなる密なネットワークで、オートマチックトランスミッションの定期点検やメンテナンスを行っています。ディーラー各社はアリソンの顧客と緊密な連絡を取り合い、あらゆる要望に迅速に対応しています。

アリソンジャパンは、納入後も顧客との関わりを重視しています。同社は要望に応じてバス事業者向けに、AT の操作、基本的な日常メンテナンス作業などを網羅した研修会を開催しています。これらの研修会を通じて、日本市場のニーズに関する貴重な知見を得ており、それらに対応する機能を製品やサービスに組み込むのに役立てています。

日本国内でアリソンのオートマチックトランスミッションを搭載した車両の数が増え続ける中、アリソンは、迅速なアフターサービスを提供し、サポート体制を強化するため、日本国内の正規サービスディーラーネットワークの拡充に尽力しており、日本のお客様が安心してアリソン製品をご利用いただけるよう努めてまいります。

